行政評価シート【重点戦略】

重点戦略 3 - (1)

健康で元気に活躍する

基本的な方向性

健康意識を高め、自らの健康について考え、取り組む機会を提供します。また、それぞれの希望に合った活躍の場、機会を創出します。

KPI（重要業績評価指標）の達成状況

指標名	実績値					目標値
	計画策定時	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2027年度
フレイル ¹ チェック参加者数【累計】	505人	2,275人				3,030人
生きがい事業団新規入会者数【累計】	-	157人				750人

1 加齢に伴い心身の活力(筋力、認知機能、社会とのつながりなど)が低下した状態のこと。

戦略推進のための主な取組の「成果」

- ・健康チャレンジ普及啓発を図るため各種講座を開催するとともに、フレイルチェック測定会を開催したほか、口腔フレイル予防を主とした東京大学高齢社会総合研究機構との共同研究である「カムカム教室お口元気プラス」を開催し、高齢者の口腔機能の向上や全身のフレイル予防を促しました。
- ・生きがい事業団の円滑な運営のために補助金を交付するとともに、会員数の増加及び就業機会の拡大に向けたPR活動に対する支援を行いました。
- ・既設18地区の町内福祉村の新たな活動や取組を支援したほか、SNSの活用やパネル展の実施等により、地域福祉活動の周知・啓発、活性化を図りました。また、町内福祉村会長会議等で新たな取組の展開について意見交換を進めるとともに、1地区において町内福祉村の新規開設に向けた検討を開始しました。
- ・平塚市老人クラブ連合会と「スポーツ大会」や「生きがい教室」等を共催し、クラブ活動の活性化を図りました。また、単位クラブに対して財政的な支援を行うことにより、各地域における交流や社会参加を促しました。また、市民の老人クラブへの関心を高めるため、会報誌の発行や「趣味の作品展」の開催などにより、クラブの活動を市民にPRしました。
- ・平塚高村団地及びその周辺地域において、南街区は、令和6年12月に福祉街区の建設工事が

始まり、令和5年10月から始まった医療街区の工事とともに順調に進んでいます。また、北街区は、令和6年11月に地域医療福祉拠点整備モデル地区構想の実現に向けた土地活用及び土地譲受事業者の公募に係る確認書を市とUR都市機構とで締結し、令和7年3月にUR都市機構による北街区の土地譲受事業者の公募が始まりました。

戦略を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（）」

- ・健康長寿の延伸を目指し、口腔機能の向上や全身フレイルの予防が必要です。
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を踏まえながら、健康チャレンジの普及啓発事業では、専門性の高い内容に特化して推進していきます。フレイルチェック測定会等の充実と、口腔フレイル予防の普及啓発を図ることで、より多くの高齢者に自身の状態に対する気づきと改善に向けた行動を促します。
- ・働く意欲のある高齢者がそれぞれにあった働き方で活躍できる環境が必要です。
生きがい事業団の事業計画等に基づく取組に対する支援や情報提供、補助金の交付等により、その運営を支援するとともに、ハローワーク等関係機関との連携によって就業機会の確保を図ります。
- ・町内福祉村への参加ボランティアの固定化・高齢化が進む状況の中、町内福祉村に対して新しい取組や連携を促進するとともに、町内福祉村が未設置の地区については、新規開設に向けた地域での検討を活発化する必要があります。
地域で必要とされる取組が活発に実施されるよう、引き続き支援するほか、各町内福祉村や他市での地域福祉活動事例等を積極的に共有し、新たな取組を喚起・提案します。さらに、様々な機会をとらえて地域福祉活動の周知啓発を進めて、町内福祉村の新設を促進します。
- ・高齢者の活動の多様性を踏まえた魅力ある「ゆめクラブ」(老人クラブ)となるよう、新規会員の確保及び会員の退会防止対策が必要です。
加入促進委員会を中心に、活動内容の見直しや、新規会員の確保及び会員の退会防止対策を検討するとともに、イベント等を通して、継続的に「ゆめクラブ」の魅力をPRします。
- ・平塚高村団地及びその周辺地域において、地域の要望に沿った施設の整備や事業の展開ができるよう、北街区の公募主体であるUR都市機構と引き続き緊密に連携をする必要があります。
北街区の施設内に併設する多世代交流スペースの管理・運営について、市と連携した取組となるよう、選定された土地譲受事業者と調整を進めます。また、地域密着型介護老人福祉施設内に併設される「地域交流スペース」については関係者と協力・連携し、地域の要望を踏まえた運営ができるよう取り組みます。

戦略推進のための「【取組】(事業)」

- 【フレイルに早めに気づくための機会の確保】(一般介護予防事業)
- 【高齢者の多様な就業機会の確保】(生きがい事業団助成事業、就労支援事業)
- 【ICTスキルを活かせる生きがい就労の支援】(生きがい事業団助成事業)
- 【知識、経験を活かす機会の創出】(地域福祉推進事業、生きがい事業団助成事業)
- 【趣味や学びなどを通じた交流機会の創出】(老人クラブ支援事業、地域の人材発掘・活用事業、地域医療福祉拠点整備モデル地区構想推進事業)